

哲学委員会（第26期・第8回）  
議事要旨

日時：2025年5月19日（月）20:00～21:10

会場：オンライン開催（Zoom）

出席者：河野哲也委員長、吉水千鶴子副委員長、吉岡洋、中村征樹幹事、奥田太郎幹事

説明者：香川知晶、加藤隆宏、藤原聖子、師茂樹

審議事項等

1. 前回の議事録の確認

- ・前回の議事録が確認され、承認された。

2. 総会等、法人化をめぐる動向についての報告

- ・河野委員長、吉水副委員長、中村幹事より、4月に開催された総会での議論、およびその後の法人化をめぐる国会審議等の動向について報告された。

3. 本年度のシンポジウムの日程とテーマについて

- ・河野委員長より、師連携会員からの提案をベースに、シンポジウム「分断化する社会の中で対話は可能か：ポスト・ソーシャルメディア時代の社会構築」の提案について説明された。3部構成ないし2部構成とし、前半をシンポジウム形式、後半を哲学対話の形で実施することとした。河野委員長から、中高生にも広く参加を呼び掛ける。
- ・立教大学池袋キャンパスにて実施することとし、日程は11月8日、22日、12月21日を候補とし、登壇者の予定も踏まえて調整する。
- ・日本哲学系諸学会連合、日本宗教研究諸学会連合にも登壇者の紹介を依頼する。
- ・シンポジウムの前半部については録画を収録し、後日、配信する予定で準備を進める。

4. 各分科会の活動報告

- ・今に生きる・活かす古典を考える分科会について、加藤隆宏分科会委員長より、見解の表出にむけた審議状況について報告がなされた。
- ・現代における「いのち」を考える分科会について、香川知晶分科会副委員長よ

り、見解の発出を見据えた尊厳・安楽死に関する検討状況について報告がなされた。

・芸術と文化環境分科会について、吉岡分科会委員長より、五感・共通感覚、ないし万博のもつ芸術的意義等をテーマとした公開シンポジウムの検討状況について報告がなされた。

・世界哲学構築のための分科会について、河野分科会委員長より、世界哲学をテーマとした公開シンポジウムの検討状況について報告がなされた。

・合同分科会について、デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会について吉水分科会委員より、子どもの権利保障分科会について河野哲也分科会委員より、科学技術・学術の政策に関する歴史的・理論的・社会的検討分科会について中村征樹分科会委員長より、それぞれ審議状況について報告がなされた。

・健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同 生活習慣病対策分科会について、河野哲也分科会委員より審議状況について報告がなされた。

## 5. その他

・今年度の予算状況について、総会時に開催された第一部会での報告を踏まえ、中村幹事より説明がなされた。

・学術フォーラム「米国科学技術政策の転換、その影響を考える」の提案について、中村幹事より説明があった。

・11月ないし12月中に開催予定の公開シンポジウムの際、当日午前中に哲学委員会を開催することとした。なお、合同分科会は別日に開催する。